

○「平成30年度学生生活実態調査」における、学生の声に対する大学の対応状況・検討状況

1. 多数意見

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
1-1	カリキュラム・講義・研究等	クォーターターム制について	<p>クォーター制を導入した目的は、留学やボランティア活動といった学生の自主的な学習体験の促進や、授業を短期間で集中的に受講することによる教育効果の向上です。</p> <p>クォーター制に対して、「集中力が持続しない」という意見が多く挙げられています。この課題に対応するために、教員による一方的な講義形式だけでなく、教室内でのグループ・ディスカッション、協働学習、ディベート、グループワーク等を組み込んだ授業の促進等に努めています。</p> <p>また、本学で実施されている全学FD研修会では、クォーター制の下で学生の学習を促進し、学習目標を達成するための授業内容や授業方法などについて教員間で議論しています。</p>	教育推進グループ
4-1	学部・研究科等の施設関係	トイレ設備の改善(改修・洋式化等)施設・設備の(トイレを除く)の改善要望	<p>【施設企画G】 ・部局等から施設の改善要望があった場合や施設パトロールで不具合等が見受けられた場合は、緊急性や重要度を指標とする点数化を行い、優先度の高い事業から実施する等、限られた予算の中で施設の改善や維持管理等を効率的・効果的に進めているところです。(平成30年度・トイレ) 平成30年度は理学部や教育学部などでバリアフリー化や洗浄便座設置等のトイレ改善工事を計画的に実施したほか、利用者から寄せられた400件程度のトイレの修理依頼に対応しています。 (平成30年度・トイレ以外) 平成30年度は部局等から寄せられた改善要望に対し300件程度の計画営繕を実施したほか、利用者から寄せられた800件程度の修理依頼に対応しています。 ・施設の改善(トイレの改善含む)については、施設の整備方針や中長期計画等を定めた「広島大学キャンパスマスタープラン2016」や「広島大学インフラ長寿命化計画」で検討しており、今後は同プランに基づいて計画的に改善していく方針としています。なお、老朽化した施設については、全面的な改修(もしくは改築)を行うための概算要求を計画的に行っており、事業化された建物から順にリニューアルを行っているところです。今年度は工学部講義棟(B1・B4)、東図書館、農場施設、歯学部研究棟A、霞図書館及び原医研実験研究棟で事業化されたため、今年度末もしくは来年度末までに当該建物の改修工事(一部は改築)を完成させる予定です。</p> <p>【総合科学研究科支援室】 M棟1階のトイレの全面改修を実施しました。</p> <p>【文学研究科支援室】 文学研究科の研究棟及び講義棟のトイレについて、平成19年度に7カ所(男子:2, 女子:5)和式から洋式に変更し、平成19年度以降に6カ所(男子:3, 女子:3)変更し、2階の男子トイレを多目的トイレへ変更しました(何れも時期は未確認)。これで、それぞれのトイレに最低1つは洋式が整備されました。なお、今後は今のところ変更の予定はありません。 平成29年度に全洋式トイレについてウォッシュレットを完備しました。 平成30年度に学生からの要望により、男子・女子トイレの個室に荷物をかけるフックを設置しました。</p> <p>【社会科学研究科】 現在、法学部・経済学部は、和式・洋式の割合がおおよそ半々となっています。検討はしていますが、洋式を好まない人もいますので、現状すべて洋式にはしないように考えています。 設備の改善・改修等については、費用等の関係で対応が難しいこともあるかもしれませんが、具体的なご要望があれば検討していきたいと思っております。</p> <p>【工学研究科支援室】 工学部講義棟(B1棟, B4棟)は、今年度上半期に大規模な改修工事を行っています。講義室は、空調設備の更新、照明のLED化、室内の修繕等について対応しています。 また、工学部講義棟の外階段周辺の照明取り付け要望に関して、照明センサーの取り付けを今期以降で対応予定としています。</p> <p>【理学研究科支援室】 【トイレ】 トイレの洋便器化については、利用状況と部局間のバランスを図りつつ、全学的見地から計画的に実施しています。なお、洋便器の設置時には原則洗浄便座を設置することとしています。 【トイレ以外】 予算上の問題もありますが、検討できる場合もありますので、理学研究科「目安箱」等に具体的な要望をお寄せください。</p> <p>【先端物質科学研究科支援室】 トイレの流れが弱いとの意見が挙げられていましたが、施設担当者に確認したところ水圧の関係で流れが弱いとのことで、これ以上の対応はできない状況です。</p>	施設企画グループ 関係研究科等支援室

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
			<p>【国際協力研究科】 IDECでは、すでに各階に洋式トイレを設置済み。老朽化等の理由により不具合が起きることはありますが、不具合の連絡があった場合はすぐに対応するようにしています。 院生室に関する改善要求があれば、各講座の学生生活委員が窓口となり状況把握を行い、そして、対応可能な場合は改善し、対応困難な場合は別の解決策がないかどうかを検討しています。</p>	
4-2	課外活動施設・供用施設関係	課外活動施設の利用方法の改善 施設・設備の改善要望	<p>【学生生活支援G】 課外活動施設の利用方法については、「もみじTop」や「学生生活の手引」に掲載されているとおりです。 利用時は、ゴミの放置やたばこのポイ捨てはしない、駐車場以外の場所に駐車しない、利用時間を守る等のルールを守っての利用をお願いします。利用時間については、利用者の身の安全のため設けているものです、利用時間内での使用をお願いします。 また、体育会等を通じて、改善等のアンケートを実施し、その要望には予算の範囲内にて対応予定です。</p>	学生生活支援グループ
4-7	駐車場・駐輪場関係	駐輪場に関する要望 ・拡張、整備(学生プラザ前, 中央図書館前, 各学部付近 等)	<p>【施設企画G】 ・平成30年度は歯学部研究棟Cの大規模改修工事に併せて駐輪場を整備したほか、今年度は東図書館の大規模改修工事に併せて駐輪場を整備する計画です。 ・駐輪場の拡張や適正配置等の諸課題については、施設の整備方針や中長期計画等を定めた「広島大学キャンパスマスタープラン2016」内で検討しており、今後は同プランに基づいて計画的に改善していく方針としています。 ・部局等から施設の改善要望(駐輪場整備を含む)があった場合や施設パトロールで不具合等が見受けられた場合は、緊急性や重要度等を指標とする点数化を行い、優先度の高い事業から実施する等、限られた予算の中で施設の改善や維持管理等を効率的・効果的に進めているところです。</p> <p>【学生生活支援G】 駐輪場については、新設・拡張がなかなか難しいことから、現在の駐輪場を最大限活用するため、駐輪スペースを圧迫している放置自転車の撤去作業を年度始めから開始し放置自転車の撤去後のスペース確保を引き続き行っていきます。 放置自転車が增多することのないよう、学生の皆さんには不要となった自分の自転車は責任を持って処分するようお願いするとともに、放置自転車を増やさないための大学の取組として、9月と3月の年2回、卒業式前の時期に不要となった自転車の無料回収を引き続き行いますので、ぜひ活用してもらえたらと思います。</p>	施設企画グループ 学生生活支援グループ
6-1	就職	就職活動支援の拡充	<p>現在、グローバルキャリアデザインセンターでは、1年次生から活用できる進路・職業選択支援プログラムとして、以下の5つを行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教養教育科目の必修科目である「大学教育入門」の中で1コマを担当 ②教養ゼミでのキャリアガイダンスの実施 ③キャリア教育科目の開講 ④インターンシップの実施(事前・事後指導含む) ⑤大学運営支援業務の紹介 <p>また、卒業(修了)の前年次生からの就活支援プログラムとして、主に以下の6つを行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①就職ガイダンス、セミナーの実施 ②就活支援ツアー(東京・大阪)の実施 ③就活ハンドブックの配布 ④キャリア相談・就職相談 ⑤学生情報の森「もみじ」の進路・就職システムによる支援 ⑥東京オフィスでの就活支援 <p>今回の調査でも就活支援が手薄だという意見がりましたが、就活イベントに関する情報が皆さんに十分に伝わっていないことも原因の1つと考えられます。広報に関して、Myもみじに掲示する方法を工夫する等、情報発信力強化に努めています。一方で、就活は情報収集力が大切ですので、自分で必要な情報を収集する力を養っていただきたいと考えています。</p> <p>さらに、以下の支援も行っていますので、希望の進路実現のため積極的に参加してください。 インターンシップ等社会体験ができる場を1年次から設けてほしいという意見がりましたが、2019年度から全学部1年生を対象とした初年次インターンシップ(社会体験)を実施することとし、低年次からの職業観の醸成を行っています。 就活経験者の上級生の話を聞きたいという意見がりましたが、就職活動を終えた学部4年生またはM2生が就活生を支援するキャリアサポーター制度があり、就職活動アドバイス等のイベントを行っています。 卒業生の先輩から、卒業後の話や自分たちに向けてのアドバイスをしてくれる場を設けてほしいという意見がりましたが、2018年度から関東・関西・広島OB・OGによる業界研究セミナーを学内で開催しています。</p>	キャリア支援グループ

2. その他対応・検討案件

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
1-1	カリキュラム・講義・研究等	時間割上授業が重なり、履修したい授業が登録できない。	時間割の授業の重複については、先生方のスケジュールや講義室の調整等の事情から完全に回避することが困難ですが、今後も履修年次が同じ授業は可能な限り重複しないよう、考慮して編成するよう努めていきます。	社会科学研究科支援室
1-2	もみじ	もみじをスマートフォンでも見やすくしてほしい。	2019年4月1日に、もみじTop及びMyもみじの表示をスマートフォンに対応しました。	教育支援グループ(教育情報)
1-2	もみじ	掲示板での重要な情報をメールで送ってほしい。	「個人掲示」と「授業掲示」が登録された時、また、「休講・補講・教室変更」の情報が登録や取り消された時に、情報メディア教育研究センター発行のメールアドレス(※)にメール配信をする機能があります。 『もみじ機能: 掲示 - メール配信設定』 こちらをご活用ください。 ※情報メディア教育研究センター発行のメールアドレス 学生番号の英字を小文字にしたもの@hiroshima-u.ac.jp (例)学生番号が B059999 であれば、b059999@hiroshima-u.ac.jp	教育支援グループ(教育情報)
1-4	学生支援体制	私のまわりに日本語校閥のことで悩み、困っている留学生がたくさんいます。正しい日本語で発表することや論文を書くことが出来ないせいで、トラウマを受けている留学生も少なくないです。大学からご対処いただけないでしょうか。	文学研究科は、博士課程前期学生に中国人留学生が多いということもあり、修士論文の日本語校閥支援として文学研究科の予算で行っています。今後は、博士課程後期学生の博士論文についても対応していきたいと思っています。	文学研究科支援室
1-4	学生支援体制	不足している単位を教えてください。	もみじの「単位修得状況確認」機能は、他学部開設科目やカリキュラム改正に伴う読み替え等の経過措置等、すべての単位を正確に集計することができないため、法学部及び経済学部の昼間コースについては、申し出により支援室窓口で「単位修得状況確認表」を配付して、確認を促しています。 履修計画を立てるうえでも、学生自身が現状の修得状況を確認し、理解しておく必要があることから、基本的には自身で学生便覧や履修確認表等を用い確認してもらうことにしていますが、そのうえで疑問点があれば、支援室にお問い合わせください。	社会科学研究科支援室
1-4	学生支援体制	卒業単位がきちんと取れているのか不安	4年生後期の履修前に単位確認を行い、単位不足の学生と指導教員に連絡しています。	生物学系学生支援室
〃	〃	I guess more materials should be provided in English language	研究科・学部の留学生向けのもみじ掲示・メール等については、重要な事は英文を併記する等で、留学生が不利益を受けないようにしています。	生物学系学生支援室
1-5	教職員の学生支援対応	生生の学生支援室に行った時の対応が遅い。来ているのがわかっているのに誰か行けよ感がある。声をかけて目が合ったら嫌そうに来て対応される。	どのような状況だったかわからないが、すぐに対応するようにはしています。	生物学系学生支援室
4-1	学部・研究科等施設	生物生産学部内の廊下が暗くて寒い	ところどころ蛍光灯が抜いてある箇所については、入れるようにします。	生物学系学生支援室
4-4	自習スペース・フリースペース	学生が自由に利用できるフリースペースが不足している。	M棟1階に、机、椅子およびコンセントを整備し、学生等が自由に利用できるフリースペース(飲食可能)を確保しました。	総合科学研究科支援室

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
4-4	自習スペース・フリースペース	自習のスペースを整えてほしい。	講義棟1階ロビーを自習・フリースペースとして設けているほか、授業や使用予定の入っていない演習室を“自習室”として開放しています。詳しくは別途案内掲示をご参照ください。 利用時間については、講義棟内のみならず、帰路についても深夜は危険が伴うため、また、夜間は職員が常駐しておらず、警備員のみでの管理となり、不審者や事故など何事か起こっても早急に対処することができない場合があるため、安全面を考慮し利用時間を制限しています。 学生の安全・健康管理、利用者数の状況、利用時間拡張によるコスト、建物内の保安、及び本学図書館の開館時間等を総合的に考慮し、現状以上のような提供を行っています。	社会科学研究科支援室
4-4	自習スペース・フリースペース	・グループで勉強会ができるような環境を整えて欲しい。 ・図書館以外にも勉強やグループ学習ができるスペースをもっと増やして欲しい。	平成29年度に西図書館3階にグループワーク室を整備しました。可動式の仕器のほか、ホワイトボードやプロジェクタが設置されています。 また、情報メディア教育研究センター本館2階のセミナー室およびオープンスペースも同様な目的でご利用いただけます。	情報化推進グループ
4-5	学生宿舍等	学生寮でWi-Fiを使いたい	平成30年度に学生宿舍の談話室にWi-Fi環境を整備しました。	情報化推進グループ
4-7	駐車場・駐輪場関係	生物生産学部A棟東側駐輪場入り口の段差をなくしてほしい。何回かこけた。	検討します。	生物学系学生支援室
4-8	学内外の交通	生物生産学部周辺の道の舗装が荒れていて、液体窒素などを運ぶ時に危険だと感じています。	施設部に要求しているが措置されていません。継続的に要求を行い改善したいと思います。	生物学系学生支援室
〃	〃	生物生産学部から学生会館まで向かう階段のあたりが夜の明かりが殆どなく、足元がかなり暗くて危険なため、街灯を一つでいいので設置してほしいです。	施設部に要望いたします。	生物学系学生支援室
4-9	情報環境	Wi-Fiがつながりにくい、電波が届かないところがある。	Wi-Fiは原則として利用者が多く集まる共有スペースを中心に整備を行っており、平成28～29年度には教室への大規模な追加整備を行いました。 電波強度の調整や設置場所の変更等については、引き続きご意見やご要望を参考に随時実施しております。 なお、利用者が限られる研究室等については、無線LANアクセスポイント設置ガイドを参考に個別の設置をお願いしております。	情報化推進グループ
4-9	情報環境	ICE端末の廃止に反対、パソコンが古い	必携PCの年次進行に伴い設置場所や台数の規模は縮小しますが、一部のICE端末については平成30年度に更新を行いました。 引き続き、情報メディア教育研究センター本館教育研究用端末室、西図書館3階語学自習室、西図書館2階メディアセンター演習室・マルチメディア工房、震地区情報端末室、東千田地区未来創世センター計算機室ではICE端末をご利用いただけます。 また新しいICE端末では、設置されるディスプレイに持ち込みPCを接続できる仕様となっております。	情報化推進グループ
4-10	節電	節電のためと思われるが、校舎内やトイレが暗い。	切れている蛍光灯を補充いたします。	生物学系学生支援室

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
5-1	食堂	<p>利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業時間の延長 ・値段を安くしてほしい ・メニューを増やしてほしい ・品切れがある ・ハラルメニューを増やしてほしい 	<p>【生協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日の食堂営業について 検討は進めています。働き手の確保と、運営のしくみの整備についてまだ準備ができていません。土曜日営業の実施の中で整理していきます。 ・価格について 組合員から支持されるための条件は商品の優位性、商品の差別化にあります。他の追随を許さない「おいしさ」の創造、品質水準は企業間の優劣を決定する戦略問題です。さらに広大生協に求められることは、食の楽しみを増幅し、「おいしさ」を追究し、正しい味覚を身につけてもらう食育の理念を体現する商品の提供です。価格訴求だけの物作りで「おいしい」と評価される商品は生まれません。相対的には低価格を実現しながら、お値打ち感をあげ、値ごろ感を訴求する「知恵」、大学生協にしかない商品創造を可能とする技術力の蓄積が必要です。大学生協自ら品質を決定しその基準を定め、素材・調理加工方法を見なおし、開発と検証を繰り返し、8割以上の利用者において評価される適切な味、飽きのこない味を実現する「おいしさの革新」を追求します。 ・メニューを増やしてほしい 現在、1日に約50-100種類のメニューを提供しています。メニュー数については、現在の厨房と出食スペースの関係、および利用者数との関係で1日当たりのメニュー数をこれ以上増やすことはなかなか困難です。週替わりや、フェアメニューも充実させていくことで、飽きないメニューの提供に取り組んでいきます。 ・品切れについて ピーク時には品切れはほとんどありませんが、昼食と夕食の間、閉店間際などは利用者が極端に少なくなりますので、出来るだけ美味しいものを提供するというと、食品廃棄を最小限にしていこうというので、一定の「品切れ」を発生させています。どうすれば最適(品切れも廃棄も最小化されるのか)化されるのか、研究課題です。 ・ハラルメニューについて ハラルメニューは充実させなければならないと考えています。設備的な制約がありますので、全食堂での実施が困難なこと、原料の仕入れもまだ困難(種類が少ない、高い)な状況であることもありますが、優先的に取り組んでいきたいと考えています。 	<p>学生生活支援グループ (学活)</p>
5-2	生協	<p>利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書センター ・書籍の充実 	<p>【生協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書センターについて 販売スペースの関係でこれまでは教科書は2週間程度の限定的な販売にとどまっていたが、販売終了後も購入されようとする方もそれなりにおり、その対応が必要でした。ターム制になったこともあり、通年で教科書を提供することが必要だと考えて、教科書センターを設置しました。 ・トータルとして、学生の皆さんの利便性が向上したと思っています。 教科書はタームが始まる前から提供しています。できれば、余裕をもってご利用いただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。 ・書籍の取扱いについて 書籍の取り扱いが最大の北1ショップでは書籍が店舗面積の約50%を占めますが、書籍の購入者は直近のデータで全利用者の約4%でした。面積の拡大は物理的に難しいのですが、品揃えと深さについては今年度から書籍専任者を新たに配置しましたのでご期待下さい。 ・利益について 生協は組合員の組織であり、事業から生まれた剰余(=利益)は以下のように使っています。①組合員に対して。具体的には書籍の1割引や様々な商品のポイント還元等。②利用環境の改善に対して。具体的には昨年、東食堂と北1食堂のリニューアルを実施し、北1食堂では床や壁の張替え、テーブルや椅子を全て買い替えて新しくしました。「明るくなった」「広くなった」等の評価をいただきました。 	<p>学生生活支援グループ (学活)</p>
6-1	就職	<p>就職に関する情報、説明会をより提供してほしい。</p>	<p>昨年度から人材広告企業の協力を得て、適性試験、自己分析・PR、インターンシップ等の就活関連説明会を開催しております。今後はさらに内容や対象、及び時期を整理して、予め年間の開催スケジュールを広報できるよう検討しているところです。</p>	<p>社会科学研究科支援室</p>
6-1	就職	<p>様々な業種のセミナーを開いてほしい。</p>	<p>IDECでは、毎年数回国際協力キャリアセミナーを開催し、国際関係分野でのキャリアを考える機会を提供しています。</p>	<p>国際協力研究科支援室</p>
7-2	経済支援関係	<p>もう少し留学生の経済的な支援が必要</p>	<p>文学研究科の留学生の経済支援について、留学生用の奨学金はあるが年々留学生が増えているため全員に行きわたっていません。アルバイト(サポーター制度を含む。)だけでは収入が少なく経済的に苦しいと思いますが、研究科として対応がなされていない状況です。今後は、文学研究科独自のサポーター制度が実現できるか検討しています。</p>	<p>文学研究科支援室</p>
7-2	経済支援関係	<p>授業料免除の申請や予約等の情報が広く伝わっていない。</p>	<p>「もみじ」の授業料免除のページトップに例年のスケジュール(前・後期別のHP更新時期並びに予約及び受付期間)を掲載しました。 広島大学公式ウェブサイト → キャンパスライフ情報(学生情報の森もみじ) → 学生生活のサポート → 経済支援 → 授業料免除</p>	<p>学生生活支援グループ (経済)</p>
7-3	授業料免除	<p>授業料免除の申請や予約等の情報が広く伝わっていない。</p>	<p>また、前・後期ごとのHP更新時期並びに予約及び受付期間の開始前のおおよそ一週間以内に、Myもみじのお知らせ掲示により全学生にその旨を周知しています。</p>	<p>学生生活支援グループ (経済)</p>

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当グループ
7-2 7-3	経済支援関係 授業料免除	授業料免除の提出書類が多く煩雑である。	授業料免除申請書類の簡略化を次のとおり実施します。 【対象】 前期申請者が後期も申請する場合で、家族構成及び収入状況等に変更がない学生 【時期】 令和元年度後期申請分から 【その他】 詳しくは、2019年7月下旬に更新する「もみじ」授業料免除のHPで確認してください。	学生生活支援グループ (経済)
7-2 7-3	経済支援関係 授業料免除	授業料免除の判定を例えば成績の平均何点以上とか、基準がほしいです。	学力基準及び経済基準の目安等については、「もみじ」の授業料免除のページに掲載していますので、ご覧ください。 (広島大学公式ウェブサイト → キャンパスライフ情報(学生情報の森もみじ) → 学生生活のサポート → 経済支援 → 授業料免除 → 申請要領・各種様式 → 授業料免除申請のしおり) 学力基準:免除申請希望者は次の①及び②の学力基準をいずれも満たす必要があります。 ①入学後の修得単位(前期申請は前年度後期分まで、後期申請は当年度前期分まで)が、本人が所属する学部、研究科等の「標準修得単位数」に達している。 「標準修得単位数」= 卒業(修了)要件単位数×(在学セメスター数÷卒業(修了)までのセメスター数)×0.8 ②入学後の修得単位(前期申請は前年度後期分まで、後期申請は当年度前期分まで)の「平均評価点」が63点以上である。 「平均評価点」=[(秀+優)の単位数×3 + 良の単位数×2 + 可の単位数]÷(修得単位数×3)×100	学生生活支援グループ (経済)
8-2	規範・マナー・モラル等	自転車に関するマナー	駐輪場以外での駐輪、特に車道に自転車をはみだしている状態は、事故を招く恐れがありますので、指定の駐輪場へ駐輪してください。 また、大学外でも、地域の方から自転車等のマナー違反(スピード出し過ぎ・前方不注意・イヤホン装着による運転など)についての苦情が寄せられています。これは、大学側も新入生全員に配付する「学生生活の手引」やMyもみじの掲示、駐輪場での直接指導等を行っていますが、いっそうの学生への指導を徹底すべき点もあります。学生自身が広島大学の学生であるという自覚と、一市民としての自覚をもち、相手のことを考えられる意識を持つことを望みます。	学生生活支援グループ